

| 用語解説               |   |
|--------------------|---|
| 語句                 | 意味  |
| 英数字                |   |
| AMH検査              | アンチミュリアン・ホルモン検査<br>卵巣の予備能（卵子がどの程度残っていて排卵を続けられるか）を推測するために用いられる   |
| AR                 | Augmented Realityの略で「拡張現実」を意味し、現実世界の一部に仮想の情報を重ね合わせる技術   |
| BRT                | Bus Rapid Transit（バス・ラピッド・トランジット）の略称。接続バスの採用や専用走行空間の整備等により、路面電車と比較して遜色のない輸送力と機能を有するバスシステム。通常の路線バスと比べると、定時性に優れ、より多くの輸送量を確保できるのが特徴                          |
| CCBT               | デジタルテクノロジーの活用を通じて、人々の創造性を社会に発揮する（シビック・クリエイティブ）ための活動拠点   |
| City-Tech.Tokyo    | スタートアップとのオープンイノベーションで持続可能な社会を実現するためのイベント  |
| CNP（カーボンニュートラルポート） | 国際物流の結節点・産業拠点となる港湾において、水素・燃料アンモニア等の大量・安定・安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化、集積する臨海部産業との連携等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指すものをいう                      |
| DX                 | デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略称。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるという概念  |
| Edtech             | 教育（Education）× テクノロジー（Technology）を組み合わせた造語<br>教育におけるAI、ビッグデータ等の様々な新しいテクノロジーを活用したあらゆる取組  |
| ESG投資              | 頭文字はE（環境、Environment）、S（社会、Social）、G（企業統治・ガバナンス、Governance）をそれぞれ意味する。企業への投資は、短期的ではなく長期的な収益向上の観点とともに、持続可能となるような国際社会づくりに貢献するESGの視点を重視して行うのが望ましいとの見解を国際連合が提唱 |

| 語 句           | 意 味   |
|---------------|---|
| E V           | 電気自動車（Electric Vehicle）の略称。エンジンの代わりにモーターと制御装置（インバーター等）を搭載し、ガソリンの代わりにバッテリーに充電した電気を使って走る自動車                                   |
| E V A         | 「Ethylene-Vinyl Acetate」エチレン酢酸ビニル共重合樹脂の略称。太陽電池セル、ガラス、バックシートを接着させる封止材の材料として使われる  |
| eスポーツ         | エレクトロニック・スポーツ（Electronic Sports）の略称。パーソナルコンピューター（P C）ゲーム、家庭用ゲーム（家庭用ゲーム専用機でプレイするゲーム）、モバイルゲームを用いて行われる対戦型ゲーム競技（スポーツ）           |
| F C V         | 燃料電池自動車（Fuel Cell Vehicle）の略称。水素と酸素を化学反応させ発生した電気でモーターを回して走る自動車  |
| F C 換装型 R T G | 水素燃料電池への換装が可能なタイヤ式門型クレーン（RTG : Rubber Tired Gantry crane）   |
| G-NETS        | 持続可能な社会を目指し、世界の都市が抱える共通課題の解決に向けた議論や知見の共有等を行うための、東京発の新たな国際ネットワーク（Global City Network for Sustainability）の略称                  |
| G X           | グリーントランスフォーメーション（Green Transformation）の略称。再生可能なクリーンエネルギーへの転換等を通じて産業構造を変革し、脱炭素社会の実現と経済成長の両立を図る取組                             |
| H T T         | 電力を「㊦減らす・㊧創る・㊨蓄める」の略称。東京都が気候危機への対応だけでなく、中長期的にエネルギーの安定確保につなげる観点から取組を強化・加速するにあたってのキーワード                                       |
| J E Tプログラム    | 「語学指導等を行う外国青年招致事業」（The Japan Exchange and Teaching Programme）の略称で、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下、地方公共団体が実施している事業 |
| J K K         | 地方住宅供給公社法に基づき東京都が全額出資して設立した特別法人であり、都が指定した東京都政策連携団体。良質な賃貸住宅等の供給などを行っている  |

| 語 句                                    | 意 味   |
|--|---|
| K K 線                                  | 東京高速道路株式会社が管理運営する自動車専用の道路のこと  |
| M & A                                  | 「Mergers（合併） and Acquisitions（買収）」の略称であるが、我が国では、広く、会社法の定める組織再編（合併や会社分割）に加え、株式譲渡や事業譲渡を含む、各種手法による事業の引継ぎ（譲り渡し・譲り受け）をいう                                       |
| M C R<br>(My City Report for citizens) | 都民が、道路等の損傷や不具合を気づいたその場で投稿できるスマートフォンのアプリケーション（道路通報システム）。都は投稿された情報を元に、必要に応じて補修等を実施（対応状況はアプリケーションで確認可能）  |
| M I C E                                | 企業等の会議（Meeting）、企業等の報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関等が行う国際会議（Convention）、展示会やイベント等（Exhibition/Event）の総称   |
| N b S                                  | 「Nature-based Solutions」の略で自然を活用した解決策のこと。IUCN（国際自然保護連合）により、「社会課題に効果的かつ順応的に対処し、人間の幸福及び生物多様性による恩恵を同時にもたらし、自然の、そして、人為的に改変された生態系の保護、持続可能な管理、再生のための行動」と定義されている |
| Park-PFI制度                             | 飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度  |
| P P A                                  | 「Power Purchase Agreement」の略称。太陽光発電の事業者が自己資金、もしくは投資家を募って資金を集め太陽光発電所を開設し、再生可能エネルギー由来の電気を購入したい需要家と電力購入契約を結んで発電した電気を供給する仕組み                                  |
| P V                                    | 「Photovoltaic（フォトヴォルテイク）」の略称。光起電性を持つ太陽電池のこと。本稿では太陽光パネルを指す言葉として使っている   |
| R P A                                  | 「Robotic Process Automation」の略称。一般的にPC上で行う業務をロボットで自動化することを指す  |
| S A F<br>(Sustainable Aviation Fuel)   | 「Sustainable Aviation Fuel」の略称。主に動植物や廃棄物由来の原料から製造され、使用により、ライフサイクルを考慮したCO <sub>2</sub> 排出量が削減されるバイオジェット燃料を含む持続可能な航空燃料                                      |

| 語 句                       | 意 味   |
|---------------------------|---|
| Society 5.0               | サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会   |
| STEAM教育                   | Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics の各教科等での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育                                   |
| SusHi Tech Tokyo          | Sustainable High City Tech Tokyo の頭文字を取ったもの<br>世界共通の都市課題 を乗り越えるための多彩なアイデア、テクノロジーなどを、東京から世界に発信する際に用いる共通のコンセプト                  |
| TIME TO ACT               | 脱炭素化に向けた実効性ある行動の加速を目指す、気候危機行動ムーブメント。「TIME TO ACT」を合言葉に、国際フォーラムの開催など東京発の気候危機行動ムーブメントを展開  |
| TOKYO DIGITAL SHOWCASE    | 江戸から続く東京のサステナブルな魅力や英知を、デジタル技術を活用しリアル&バーチャルのハイブリッドで発信する事業  |
| TOKYO GLOBAL GATEWAY      | 東京都英語村の呼称。児童・生徒が「生きた英語」をふんだんに発話し世界に目を向けるきっかけとなるよう、東京都教育委員会が、施設の整備運営を行う民間事業者と協働して実施している事業                                      |
| Tokyo Sky Corridor        | 現在は自動車専用の道路として供用されている東京高速道路（KK線）上部空間を再生・活用して整備される歩行者中心の公共的空間  |
| Tokyo Tokyo Old meets New | 「東京ブランド」の確立に向け、東京の魅力を国内外にPRするアイコン。筆文字のTokyoとゴシック体のTokyoは、江戸から続く伝統と最先端の文化が共存する東京の特色を表現   |
| TOKYO強靱化プロジェクト            | 東京が直面する5つの危機（風水害、地震、火山噴火、電力・通信等の途絶、感染症）に対して、2040年代に目指す強靱化された東京の姿の実現に向け、全庁共通の前提条件として設定した「共通の目線」を踏まえ、今後、都が取り組むべき事業を取りまとめたプロジェクト |
| TOKYO創業ステーション・TAMA        | 東京都と（公財）東京都中小企業振興公社が連携して設置した多摩地域の創業支援施設   |

| 語 句                   | 意 味  |
|-----------------------|--|
| U-15女子ソフトボールワールドカップ   | 世界野球ソフトボール連盟（WBSC）が、オリンピックへの出場を念頭にした若手選手の育成強化、若者世代への競技の普及振興を目的に2023年から新たに創設したU-15世代の女子ソフトボールのワールドカップ                 |
| V 2 B（ビークル・トゥ・ビルディング） | 「Vehicle to Building」の略称。自動車とビルの間で電力相互供給する技術やシステム。自動車に蓄えられた電力をオフィスや工場の電力として利用するもの                                    |
| V 2 H（ビークル・トゥ・ホーム）    | 「Vehicle to Home」の略称。電気自動車と家をつなぐシステム。電気自動車に貯めた電気を自宅での使用する給電機能を備えたもの。電気自動車に乗らない日は充電した電気を家庭で使い、停電時にはバックアップ電源として活用可能    |
| V L Nポイント             | 東京ボランティアレガシーネットワークの個人ユーザーに対し、サイト利用内容に応じて付与されるポイント  |
| V P P（バーチャル・パワー・プラント） | 「Virtual Power Plant」（仮想発電所）の略称。地域内の需要と発電・蓄電をあたかも1つの発電所のようにまとめてIoTやクラウドを活用し、集中コントロールする仕組み                            |
| Z E V                 | 走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない自動車（Zero Emission Vehicle）の略称。本稿においては、電気自動車（E V）、プラグインハイブリッド自動車（P H V）※、燃料電池自動車（F C V）のこと ※EV走行時 |
| <b>あ行</b>             |  |
| アーカイブ資産               | 東京2020大会の準備・運営等に伴って作成・利用された資産のうち、歴史的な価値を有し、大会の記憶・記録を伝えていくもの  |
| アートマネジメント             | 文化の作り手と受け手をつなぐ役割を担うものであり、公演や作品等の企画・制作、資金の獲得など、芸術を発展させるために不可欠なもの  |
| アウトリーチ                | 積極的に対象者の居る場所に出向いて働きかけること   |

| 語 句                        | 意 味  |
|----------------------------|--|
| アドベンチャーツーリズム               | 「自然」、「アクティビティ」、「文化体験」の3要素のうち2つ以上で構成される旅行                             |
| 有明アーバンスポーツパーク              | 東京2020大会のレガシーとなるアーバンスポーツを体感できる場として、大会レガシーゾーン、広場及び多目的ゾーンからなる施設        |
| アンコンシャス・バイアス<br>(無意識の思い込み) | 経験則等により、知らず知らずのうちに身につけた思い込みで、本人が意識しないところで、行動や意思決定に影響を与えること           |
| アントレプレナーシップ                | 自ら社会の課題を発見し、周囲のリソースや環境の制限を越えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく姿勢や発想、能力等           |
| 一時滞在施設                     | 災害時に帰宅が可能になるまで待機する場所がない帰宅困難者を一時的に受け入れる施設                             |
| イノベーション                    | 新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらす、自律的な人・組織・社会の幅広い変革          |
| 医療的ケア児                     | 日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア（人工呼吸器による呼吸管理、たんの吸引その他の医療行為）を受けることが不可欠である児童 |
| インクルーシブ                    | 年齢や性別、国籍、心身の障がいの有無に関係なく共生すること  |
| ウェルビーイング                   | 身体的な健康だけでなく、精神面、社会面も含めた全てにおいて良好な状態のこと                                |

| 語 句       | 意 味   |
|-----------|---|
| エシカル消費    | エシカルとは倫理的という意味で、人や社会、環境に配慮した消費行動のこと   |
| エネルギー導管   | 熱供給事業等において冷水や温水が流れる熱導管のこと   |
| エンゲージメント  | 働く方が、仕事へのやりがい・働きがいを感じる中で、組織や仕事に主体的に貢献する意欲や姿勢を示す概念                           |
| オフグリッドベース | 電力会社の設置する送電網に依存することなく、電力を自給自足できるシステムが完備された拠点のこと                             |
| 温室効果ガス    | 人の活動に伴って排出される二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）、フロン、メタン、一酸化二窒素など、大気中の熱を吸収する性質のある7種類のガス |
| 音声マイニング   | 音声データをテキスト化し、様々な情報を抽出するための技術  |
| <b>か行</b> |   |
| カーボンハーフ   | 温室効果ガス排出量を50%削減すること。東京都は、2030年までに温室効果ガス排出量を50%削減（2000年比）することを表明             |
| 海上公園      | 都民が海や自然とふれあい、レクリエーションを楽しめる場として、埋立地を公園として整備したもの。海浜公園、ふ頭公園、緑道公園が存在            |
| 科学的介護     | 科学的裏付け（エビデンス）に基づく介護   |
| 家事育児サポーター | 産後ドゥーラ、ベビーシッター、家事支援ヘルパー等のこと   |

| 語 句           | 意 味  |
|---------------|--|
| 家事・育児パッケージ    | 妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援する「とうきょうママパパ応援事業」において、妊娠期や子育て期間の節目などに、各自治体から配布する、子育てに必要な物品や、それらの購入に使用できるクーポン等   |
| 環境確保条例        | 「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」のこと。地球温暖化対策、自動車公害対策、工場公害対策などに関する規制や、都の責務等について定めている                        |
| 環境保全型農業       | 農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業                        |
| 気候変動適応        | 気候変動が起きても、暮らしを可能な限り持続的可能になるよう工夫すること。一方、温室効果ガスの発生量を削減し気候変動自体を抑制することを気候変動の「緩和」という                  |
| 帰宅困難者         | 災害時に外出している者のうち、近距離徒歩帰宅者（近距離を徒歩で帰宅する人）を除いた帰宅断念者（自宅が遠距離にあること等により帰宅できない人）と遠距離徒歩帰宅者（遠距離を徒歩で帰宅する人）    |
| キャップ&トレード制度   | 個々の事業所等に温室効果ガスの排出量の上限を定めて、排出削減の確実な実施を担保するとともに、その過不足を取引によって移転又は獲得することを認める制度                       |
| キングサーモンプロジェクト | 都が公募・選定したスタートアップに対して、先端プロダクトを実装するためのフィールドとして都政現場を提供、都政課題の解決に資するソリューションについて公共調達を実施                |
| 区間到達率         | 東京都耐震改修促進計画における特定緊急輸送道路の区間ごとの通行機能を評価する指標であり、当該区間に都県境入口の過半から到達できる確率をシミュレーションにより算出したもの             |
| グリーンインフラ      | 自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方   |
| グリーン水素        | 再生可能エネルギーの電力で水を電気分解して製造した水素等を指す。ほかに化石燃料の改質から生成する「グレー水素」、化石燃料の改質から水素生成を行ったうえで炭素を回収・貯留する「ブルー水素」がある |

| 語 句        | 意 味  |
|------------|--|
| グリーンファイナンス | E S G金融のうち、特に温室効果ガス排出量の削減や再生可能エネルギー事業への投資など、環境問題の解決に資する「E」への資金提供を指す                                |
| ケアマネ       | ケアマネジャー。介護保険法に基づき、要介護者や要支援者が自立した日常生活を営むための援助をし、そのために必要な専門的知識や技術を備え、介護支援専門員証の交付を受けた者                |
| 健康寿命       | 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間   |
| 公開空地       | 建築物の敷地内に設けられた、歩行者が自由に通行または利用できる空地  |
| 交通モード      | 徒歩、自転車、路線バスなどの交通手段   |
| 高齢化率       | ある地域の人口に、65歳以上の高齢者人口が占める割合   |
| 国際競技連盟     | 各国の競技団体を国際的に統括する非政府組織。略称IF。各IFはオリンピックや世界選手権などでそれぞれの競技の運営にあたりると同時に、国際的に適用する大会参加規定や競技規則（ルール）を独自に制定する |
| 国勢調査       | 日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするために、5年ごとに行われる                                |
| 心のバリアフリー   | すべての人が平等に社会参加できる社会や環境について考え、そのために必要な行動を続けること   |
| 子供アドボケート   | 児童相談所が関わる子供の意見形成や意見表明を支援する仕組み  |

| 語 句                      | 意 味   |
|--------------------------|---|
| こども家庭センター                | 全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援等を行う、区市町村に設置される拠点。支援を要する子どもや妊産婦等への支援計画（サポートプラン）の作成などを実施。児童福祉法等の改正により、区市町村はこども家庭センター設置の努力義務が定められた                               |
| こどもスマイル大冒険               | こどもスマイルムーブメント参画企業・団体と連携して実施する、子供の笑顔につなげる夏の取組。2022年度は、官民様々な主体が知恵を出し合い、200を超えるイベントが企画された  |
| こどもスマイルムーブメント            | 社会全体で子供を大切に作る気運を醸成するため、幅広い主体が連携し、子供の笑顔につながる、子供目線に立った様々なアクションを展開する取組   |
| こども未来会議                  | 「子供が笑顔で子育てが楽しいと思える社会」の実現に向けて、従来の枠組みにとらわれない幅広い視点で議論を行うための、有識者・著名人等からなる会議体  |
| <b>さ行</b>                |   |
| サーキュラーエコノミー              | 削減・循環・再生を基調とした持続可能・脱炭素・省資源の生産及び消費のモデル<br>①脱物質化及びロスの最小化により、資源消費量自体を削減、②長期使用、シェアリング、リユース、リペア、リサイクル等により、経済システムの中で可能な限り長く製品や資源の価値を維持、③バイオマス資源を持続可能な範囲で生産・消費 |
| 再エネ                      | 「再生可能エネルギー」の略称。再生可能エネルギーとは、石油や石炭、天然ガスといった有限な資源である化石エネルギーとは違い、太陽光や風力、地熱といった地球資源の一部など自然界に常に存在するエネルギーのこと。温室効果ガスを排出せず、国内で生産できることからエネルギー安全保障にも寄与             |
| サステナブルエネルギーファンド          | 再生可能エネルギー発電所やクリーンエネルギー拠点等の整備に向けて、これらに投融資を行うファンド   |
| サステナブルツーリズム<br>(持続可能な観光) | 訪問客、業界、環境および訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在および将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮する観光  |
| 自然増減                     | 出生・死亡による人口の増減<br>出生数が死亡数を上回ると「自然増」、下回ると「自然減」となる   |

| 語 句                 | 意 味  |
|---------------------|--|
| 持続可能な都市             | 気候危機やパンデミックを乗り越えた、豊かな自然と便利な暮らしが融合した都市  |
| 自転車通行空間             | 車道の一部を活用した自転車レーンの設置や歩道内での構造的・視覚的分離などの手法によって整備される自転車の通行部分   |
| 社会実装                | 研究開発によって得られた知識・技術・製品・サービスを実社会で活用すること   |
| 社会増減                | 転入・転出による人口の増減<br>国内外を問わず移動した人口の増減となる   |
| 住宅セーフティネット          | 住宅確保要配慮者の方々が、その所得、家族構成、身体状況等に適した住宅を確保できるようにする様々な仕組み  |
| 重点整備地域              | 整備地域のうち、防災都市づくりに資する事業を重層的かつ集中的に実施する地域  |
| 就労継続支援 B 型事業所       | 一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難な障害者に対して、就労の機会の提供、生産活動の機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の支援を行う事業所   |
| 手話言語条例              | 手話を必要とする方の意思疎通を行う権利が尊重され、安心して生活することができる共生社会を実現するために、都の責務や都民及び事業者の役割を定めた条例。令和 4 年 9 月 1 日施行   |
| 省エネ                 | 「省エネルギー」の略称。エネルギーを効率よく使うこと。地球温暖化防止だけでなく、エネルギーの安定供給確保の意義もある   |
| 省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム | 「東京都 省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム」の略。2030 年までに温室効果ガス排出量を50%削減（2000年比）するカーボンハーフの実現に向けて、東京都、住宅関係団体及びその会員事業者が一体となって、エネルギー消費性能に優れ、再生可能エネルギーの利用が進んだ環境性能の高い住宅（省エネ・再エネ住宅）を普及促進させるために設立 |

| 語 句                | 意 味   |
|--------------------|---|
| 女性が輝くTOKYO懇話会      | 女性活躍の推進について広く発信と提言を行うことを目的とした懇話会  |
| 自立分散型電源            | 需要家エリアに隣接して分散配置される、停電時でも自立して電力供給が可能な発電設備  |
| 人権プラザ              | 東京都が設置した人権啓発のための拠点施設  |
| 新耐震基準              | 昭和56年6月1日に導入された耐震基準。建築基準法では最低限遵守すべき基準として、中規模の地震動（震度5強程度）に対してほとんど損傷を生じず、大規模の地震動（震度6強から7に至る程度（阪神・淡路大震災クラス））に対しては人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害を生じないことを目標としている |
| 水素エネルギー            | 水素を燃焼させることで生まれる熱エネルギー、水素と酸素とを反応させることで得られる電気エネルギーを指す   |
| 水素ステーション           | 燃料電池自動車などに水素を供給するための施設。水素を外部から輸送して貯蔵するオフサイト型と、都市ガスなどを改質してステーション内で水素を製造するオンサイト型がある。移動可能なトラックの荷台に水素充填装置を積んだ移動式ステーションもある                           |
| 垂直軸型風力発電           | 風車の回転軸が地面に対して垂直になるもの。どの方向の風も利用可能で風向を選ばない  |
| スーツケース型ナビゲーションロボット | 視覚障害者等を屋内外において、目的地まで安全に誘導、案内し、安心かつ自由な移動を可能にすることを目的とした、日本科学未来館他が開発中の自律型ナビゲーションロボット。スーツケース型の外観は社会に受け込むインクルーシブなデザイン                                |
| スクールソーシャルワーカー      | 児童生徒が置かれている様々な環境に着目して働き掛けることができ、学校内あるいは学校の枠を越えて、関係機関等との連携をより一層強化し、問題を抱える児童生徒の課題解決を図るためのコーディネーター的な存在   |
| スポーツ推進認定企業         | 東京都が認定した、従業員のスポーツ促進やスポーツ支援に取り組む企業等  |

| 語 句        | 意 味  |
|------------|--|
| スマートポール    | 5 G アンテナ基地局、高速Wi-Fi及びセンサー等の様々な機能を備えた次世代都市インフラ  |
| 政策連携団体     | 都と協働して事業等を執行し、又は提案し、都と政策実現に向け連携するなど、特に都政との関連性が高い団体で、全庁的に指導監督を行う必要がある団体   |
| 生産緑地       | 生産緑地法に基づき、市町村が都市計画の中で定める農地。市街化区域内にある農地等で、農林漁業と調和した都市環境の保全等良好な生活環境の確保に相当な効用があり、かつ、公共施設等の敷地の用に供する土地として適しているものであること等の条件に該当する一団のものの区域（生産緑地地区）内の農地等 |
| 生殖機能温存療法   | がん等の治療の前に、卵子や精子、受精卵、卵巣組織凍結を行い、がん等の治療後にこれらを用いて妊娠・出産を目指す治療法  |
| 整備地域       | 木造住宅密集地域を中心に、震災時に特に甚大な被害が想定される地域   |
| 生物多様性地域戦略  | 生物多様性基本法に基づき地方公共団体が策定する、生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画。都は2022年度末に新たな地域戦略を策定する予定  |
| 世界陸上       | 世界のすべてのワールドアスレティックス加盟国・地域から約 2,000 人の選手が出場する、陸上競技ではオリンピックと並ぶ世界最高峰の大会   |
| セキュリティトークン | 企業等が資金調達等を目的として有価証券を裏付けにブロックチェーン上で発行するトークン   |
| 摂食嚥下障害     | 噛んだり、飲み込んだりすることが困難なこと。都は、こうした障害を持つ人でも楽しめるように、柔らかくとろみをつけるなど工夫して調理されたインクルーシブフードの開発・普及を支援   |

| 語 句            | 意 味  |
|----------------|--|
| セル             | 太陽電池の基本単位。シリコンを結晶化させてインゴットという結晶柱をつくり、一般的に約10cm角、12.5cm角、15cm角または丸のシリコンの薄い板で、電極化したものをセルという                    |
| ゼロエミッション東京     | 世界の平均気温上昇をよりリスクの低い1.5℃に抑えることを追求し、2050年に世界のCO <sub>2</sub> 排出実質ゼロに貢献する東京都の目標                                  |
| ゼロエミッションビルディング | 省エネ対策と再エネの活用により、CO <sub>2</sub> 排出量ゼロを実現したビル。なおZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）は省エネ対策と再エネの活用により、消費エネルギー量が大幅に削減された建築物を指す  |
| ゼロエミポイント       | 「東京ゼロエミポイント」の略称。都の実施する「家庭のゼロエミッション行動推進事業」で付与するポイントの呼称。省エネ性能の高いエアコン・冷蔵庫等買い換えた都民に対して付与し、ポイント数に応じて商品券やLED割引券を交付 |
| 先行プロジェクト       | 「東京ベイeSGプロジェクト」の一環として、持続可能な都市の実現に資する最先端テクノロジーの社会実装に向けた取組   |
| センター・コア・エリア    | 概ね首都高速中央環状線の内側のエリア   |
| 総合診療           | 高齢化の進展に伴い、複数の疾患を有するなど、特定の診療科だけでは対応が難しい患者の増加が見込まれるなか、診療科の枠を超えた総合的、包括的な診療を行い、多様な症候への対応を目指す                     |
| ソーシャルファーム      | 自律的な経済活動を行いながら、就労に困難を抱える方が、必要なサポートを受け、他の従業員と共に働いている社会的企業のこと  |

| 語 句             | 意 味   |
|-----------------|---|
| <b>た行</b>       |   |
| 第一次緊急輸送道路       | 災害時の避難や救助活動、物資輸送を担い、防災拠点等を結ぶ路線  |
| 第一次ベビーブーム       | ベビーブームとは、赤ちゃんの出生が一時的に急増することをいう<br>第一次ベビーブームは1947（昭和22）年から1949（昭和24）年であり、この世代は「団塊世代」と呼ばれる                                  |
| 第二次ベビーブーム       | ベビーブームとは、赤ちゃんの出生が一時的に急増することをいう<br>第二次ベビーブームは1971（昭和46）年から1974（昭和49）年であり、この世代は「団塊ジュニア世代」と呼ばれる                              |
| 太陽光パネル設置義務化     | 大手ハウスメーカー等を対象として、2025年4月から新築住宅等への太陽光パネル設置や断熱・省エネ性能の確保等を義務付ける全国初の制度。建物が集積する東京の特色である「屋根」を最大限活用                              |
| 脱炭素化            | 二酸化炭素など温室効果ガスの排出ゼロにつながる取組全般を呼ぶ。2020年10月、国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言                                 |
| 地域エネルギー有効利用計画制度 | エネルギーをより有効に使えるよう、開発計画の策定過程の早い段階から、未利用エネルギーや再生可能エネルギーの活用や、効率的なエネルギー供給について検討を行い、低CO <sub>2</sub> 型の都市づくりを推進する制度             |
| 地域共生社会          | 制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会              |
| 地域コホートビッグデータ    | ここでは、特定の地域に在住の高齢者における、生活習慣、病歴、検査所見などを長期間にわたり追跡調査したデータを指す  |
| 地域熱供給           | 冷水や温水等を一箇所ですべて製造し、導管を通じて街（建物）に供給するシステム  |
| 蓄熱槽             | 一般には暖房用温水、冷房用冷水を一時貯えるための水槽をいう。水槽の容量を十分に大きくすることにより、ピーク負荷を平均化し、また夜の不使用時にボイラー・冷凍機を連続運転することにより、昼間の使用時の必要熱量を貯え、熱源機器の容量を小さく設計可能 |

| 語 句            | 意 味  |
|----------------|--|
| チャットボット        | ネットワーク上で入力した質問に対し、自動で回答を行うプログラム  |
| 町会・自治会応援キャラバン  | 町会・自治会の「やってみたいこと」、「改善したいこと」、「困っているが解決策がわからないこと」等に対して、行政と専門家の支援チームが個別に相談対応し、実施まで伴走支援を行う事業   |
| 調節池            | 増水した河川の水を一時的に取り込み、下流の流量を減らして水害を軽減する、河川沿いに設置された貯留施設。調節池の設置は、市街化が進んで河道の改修が極めて困難な都市部などにおいては、治水対策上有効な手段となる                             |
| 沈殿池            | 原水中の濁質を沈殿させるための池のことで、普通沈殿池と薬品沈殿池とに大別される。前者は、自然沈降により汚濁物質を沈殿・分離するのに対し、後者は、薬品を用いて汚濁物質を凝集することにより、効率良く沈殿・分離を行う                          |
| デイトタイム救急隊      | 救急需要が高い日中に特化した運用をしている救急隊<br>育児等の事情で24時間勤務が難しい職員も救急隊員として勤務が可能   |
| デジタルシティズンシップ教育 | 優れたデジタル市民になるために必要な能力を身につけることを目的とした教育   |
| デジタルツイン        | センサーなどから取得したデータをもとに、建物や道路などのインフラ、経済活動、人の流れなど様々なフィジカル空間（現実空間）の要素を、サイバー空間（コンピューターやコンピューターネットワーク上の仮想空間）上に「双子」のように再現したもの               |
| デジタルデバイド       | インターネットやパソコン、スマートフォン等の情報通信技術を扱うことができる人とできない人との間に生じる格差  |
| デフリンピック        | 国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）が主催し、4年ごとに開催されるデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会   |
| デマンドレスポンス      | 需要家側エネルギーリソース（DSR）※の所有者もしくは第三者が、需要家側エネルギーリソース（DSR）を制御することで、電力需要パターンを変化させること<br>※ 需要家の受電点以下に接続されているエネルギーリソース（発電設備、蓄電設備、需要設備）を総称するもの |
| テレワーク          | 情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。働く場所によって、自宅利用型テレワーク（在宅勤務）、モバイルワーク、施設利用型テレワーク（サテライトオフィス勤務など）の三つに分類                                |

| 語 句                  | 意 味   |
|----------------------|---|
| 転出超過                 | 転出数が転入数を上回っている状態  |
| 転入超過                 | 転入数が転出数を上回っている状態  |
| 東京型スマート農業            | 東京都及び東京都農林総合研究センターが“稼ぐ農業”の実現を目指し実施する「東京型スマート農業プロジェクト」で研究開発を進める、様々な産業や研究機関が集積する東京の強みを活かした小規模でも高収益を実現する農業                         |
| 東京こどもすくすく住宅          | 居住者の安全性や家事のしやすさなどに配慮され、子育てしやすい環境づくりのための取組を行っている優良な住宅で都が認定したもの   |
| 東京コンソーシアム            | 東京の多様な産業集積を生かし、スタートアップ・エコシステムの形成促進や、企業、経済団体、大学、研究機関、ベンチャーキャピタル、広域連携自治体等幅広い産学官の主体によるスタートアップの創出・成長促進支援を実施するプラットフォームとして、2020年1月に設立 |
| 東京サーキュラーエコノミー推進センター  | 2022年4月1日開設。都民と事業者などに対する持続可能な資源利用についての情報発信や具体的な取り組みの支援を通じて、サーキュラーエコノミーへの移行に貢献していくことを目指す   |
| 東京ささエール住宅            | 住宅の確保に配慮が必要な方の入居を拒まない民間賃貸住宅（セーフティネット住宅）について、貸主・借主双方にとって、より一層親しみやすく分かりやすいものになるよう、都独自に設定した愛称                                      |
| 東京産ブランド農産物           | 都試験研究機関で開発された新品種や地域特産農産物等のうち、消費者等に選ばれる価値を向上させた東京産の農産物   |
| 東京消防庁救急相談センター        | 急な病気やけがをして、病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷った場合の相談窓口。「#7119」に電話をかけることで相談可能<br>24時間年中無休   |
| 東京ゼロエミ住宅             | 東京の地域特性を踏まえ、高い断熱性能の断熱材や窓を用いたり、省エネ性能の高い照明やエアコンなどを取り入れた都が独自に定める住宅。都は、環境性能に応じた補助を実施している  |
| 東京宝島サステナブル・アイランド創造事業 | 島しょ地域の持続的発展や特色ある宝物の発掘、魅力の創造につながる、町村の意欲的な公民共創の取組を支援する事業  |

| 語 句                | 意 味  |
|--------------------|--|
| 東京宝島ブランドサポーターシップ   | 島しょ事業者が実習生として大学生を受け入れ、商品開発等を行う事業   |
| 東京たま未来メッセ          | 産業の振興を図るため令和4年度に開業した、見本市・展示会等に利用できる多摩地区最大級の展示室と大小7つの会議室を持つ施設（正式名称：東京都立多摩産業交流センター）  |
| 東京デジタルアカデミー        | デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進による東京全体のQOSを向上させるため、「人材育成」「先進事例の調査・分析」「区市町村連携」を一体的に進め、都・区市町村職員のデジタル力の向上を図る  |
| 東京都子ども基本条例         | 令和3年第一回都議会定例会において議員提案、可決・成立し、令和3年4月1日に施行。子供の笑顔があふれる社会の実現に向けた基本理念及び東京都が取り組むべき施策の基本となる事項を定めている   |
| 東京とどまるマンション        | 停電時でもエレベーターや水道の利用に必要な電源の確保や、防災マニュアル策定等の防災対策を講じたマンション   |
| 東京都パートナーシップ宣誓制度    | パートナーシップ関係にあるお二人からの宣誓・届出を、都が受理したことを証明（受理証明書を交付）する制度  |
| 東京都立病院機構           | 令和4年7月、都立病院と公社病院が一体的に地方独立行政法人へ移行し、「新たな都立病院」として発足したもの   |
| 東京のしゃれた街並みづくり推進条例  | 都市計画法等の適切な運用を図りながら、都民、事業者及びまちづくり団体の意欲と創意工夫をいかして、個性豊かで魅力のあるしゃれた街並みを形成するための制度を定めた条例  |
| 東京ベイeSGプロジェクト      | ベイエリアを舞台に、50年・100年先までを見据えた持続可能なまちづくりを構想するプロジェクト。「eSG」には、本来のESG（Environment、Social、Governance）の概念に加え、e = エコロジー（ecology）、経済（economy）、新時代を切り拓く画期的な技術（epoch-making）、SG = 東京の礎を築いた渋沢栄一、後藤新平の精神を受け継ぐ（Shibusawa、Goto）といった想いを込めている |
| 東京ボランティアレガシーネットワーク | 東京2020大会をきっかけに、ボランティアに関わる人々や団体がいっそうつながっていくことを目指し、様々なボランティア活動の魅力を発信するとともに、体験を共有し、交流することができるポータルサイト  |

| 語 句                    | 意 味  |
|------------------------|--|
| 東京マイ・タイムライン            | 「マイ・タイムライン」とは、災害時の避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくもの。「東京マイ・タイムライン」では、風水害からの避難に必要な知識を習得しながら、家族で話し合っ、マイ・タイムラインシートを作成することにより、適切な避難行動を事前に整理できる                                |
| 東京リカレントナビ              | スキルアップやキャリアチェンジ等につながる教育コンテンツを掲載したポータルサイト   |
| 動物愛護相談センター             | 人と動物との調和のとれた共生社会の実現に向けて、動物愛護と適正飼養の普及啓発、動物の保護と管理、健康危機管理等の業務を行うために設けられた東京都の施設  |
| 東部低地帯                  | 東京都東部地域における概ねA.P.+5.1m以下の地域（高潮による水没の恐れのある地域）のこと。東部低地帯には、隅田川、荒川、中川などの河川と多くの支川が流れており、約250km <sup>2</sup> の面積に約300万人の人々が生活している  |
| トー横                    | トーホーシネマズ横の略<br>東京都新宿区歌舞伎町にあるTOHOシネマズ（東宝ビル）の周辺地区の俗称   |
| 特定緊急輸送道路               | 「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」第7条に基づき、特に耐震化を推進する必要がある道路として指定した道路で、緊急輸送道路のうち、すべての第一次緊急輸送道路及び地域防災計画に基づき災害時の区市町村本部をを設置する区市町村庁舎との連絡や他県の第一次緊急輸送道路との連絡に必要な第二次又は第三次緊急輸送道路 |
| 特定整備路線                 | 市街地の延焼を遮断し、避難路や緊急車両の通行路となるなど、整備地域の防災性の向上を図る都施行の都市計画道路  |
| 都市OS                   | 都市で提供するサービス・機能を高度化するために、人流、交通など都市から生まれる様々なデータを蓄積・活用し、分野横断的な都市サービスを実現するデータ連携基盤のこと   |
| 都市開発諸制度                | 公開空地の確保などの公共的な貢献を行う良好な建築計画に対して、容積率などを緩和する制度。都市計画法に基づく再開発等促進区を定める地区計画、特定街区、高度利用地区及び建築基準法に基づく総合設計の4制度の総称   |
| 都民参加型の生きもの情報収集蓄積プロジェクト | 各種生物多様性に関する施策の基礎情報である、都内全域の野生生物目録（インベントリー）を策定するための都民参加型の生きもの調査   |
| ドローン                   | 航空の用に供することができる飛行機、回転翼航空機、滑空機、飛行船その他政令で定める機器であつて構造上人が乗ることができないもののうち、遠隔操作又は自動操縦により飛行させることができるもの  |

| 語 句                  | 意 味   |
|----------------------|---|
| <b>な行</b>            |   |
| 認知症サポーター             | 講座の受講を通じて認知症についての正しい知識を習得し、自分のできる範囲で認知症の人や家族を応援する人  |
| 認知症リスクチャート           | 個人の生活習慣、病歴、検査所見等をもとに将来的に認知症を発症する確率を高い精度で予測するとともに、リスクとなる要素を取り除くことにより認知症がどの程度予防できるかを図やグラフにより視覚化するもの               |
| 燃料電池（FC）             | 水素と空気中の酸素を反応させ、直接電気へ変換して発電するシステム。利用の段階では水しか排出しない  |
| 農業公園                 | 農業振興を図る交流拠点として、生産・普及・展示機能、農業体験機能、レジャー・レクリエーション機能等を有し、農業への理解の増進や人材の確保育成を図るための公園                                  |
| 農の風景育成地区             | 都市部において比較的まとまった農地や屋敷林等が残り、特色ある風景を形成している地域について、区市町が、将来にわたり風景を保全、育成するとともに、都市環境の保全、レクリエーション、防災等の緑地機能を持つ空間として確保する地区 |
| ノーコード                | プログラミングなしでアプリを作成する手法  |
| <b>は行</b>            |   |
| バースデーサポート            | 1歳又は2歳を迎える子供を育てる家庭に対して、情報提供や状況把握等を行うとともに、育児パッケージを配布する取組   |
| バーチャル・ラーニング・プラットフォーム | 日本語指導や不登校支援等、支援が必要な子供たちの居場所・学びの場として、東京都教育委員会が区市町村教育委員会に提供する仮想空間   |
| バイオ燃料                | 動植物などから生まれた生物資源からつくる燃料を呼ぶ。つくられる燃料は、ペレットなどの固体燃料、バイオエタノールやBDF（バイオディーゼル燃料）などの液体燃料、そして気体燃料と様々                       |
| 配偶者暴力加害者プログラム        | 加害者プログラムに参加する動機付けのある加害者に働きかけることで、加害者に自らの暴力の責任を自覚させるとともに暴力の再発を防ぐことを目的としたプログラム                                    |

| 語 句          | 意 味  |
|--------------|--|
| バリアフリー基本構想   | バリアフリー法に基づき、旅客施設を中心とした地区や、高齢者、障害者等が利用する施設が集まった地区（「重点整備地区」）において、公共交通機関、建築物、道路、路外駐車場、都市公園、信号機等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するために区市町村が作成するもの     |
| パワーコンディショナー  | 直流の電気を交流に変換し、家庭用の電気機器などで利用できるようにするための機械。太陽電池やエネファームなどの家庭用発電システムで発生する直流電力を交流電力に変換した上で、家庭内での利用、または蓄電池への充電、系統への売電などに適した、安定した出力に整える役割を担う |
| ピアサポート       | 自ら支援対象者と同様の経験を持ち、その経験を活かしながら、相談支援等を行うこと  |
| ヒートポンプ       | 大気中などの熱を集めて移動させるシステム。電力は熱を運ぶ動力として使うため、少しの電力で大きな熱を利用することが可能   |
| 非ガソリン化       | 都は都内で新車販売される乗用車、二輪車を100%非ガソリン車（燃料電池自動車（FCV）、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）及びハイブリッド自動車（HV））とすることを目指している                                |
| ひきこもりサポートネット | 東京都のひきこもりに関する相談窓口。ひきこもりでお悩みの、ご本人やご家族、支援者からの相談を受け付けている  |
| ピッチイベント      | スタートアップなどが短時間で自社の魅力や将来性、製品・サービスをプレゼンテーションする催し  |
| ピロティ         | 建物において壁がなく柱だけで構成された空間  |
| ファンド・オブ・ファンズ | 1つのファンドが複数のファンドへ投資する「外部委託型投資信託」のこと   |
| フードテック       | 食に関する先進技術の総称   |

| 語 句           | 意 味  |
|---------------|--|
| フードバンク        | 生産・流通・消費の各過程で生じる未利用食品を食品関係企業などからの寄付を受けて、必要としている人や施設等に提供する活動・団体   |
| フードパントリー      | 住民の身近な地域に「フードパントリー(食の中継地点)」を設置し、生活困窮者に対して食料提供を行うと同時に、生活困窮者から生活の状況や困りごと等を聴くことで、適切な相談支援機関等につなぐ取組               |
| フェムテック        | Female(女性)とTechnology(技術)を掛け合わせた造語で、女性の健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービス   |
| 浮体式洋上太陽光発電    | 海や池等の水面に太陽光パネルを浮かべることで発電を行う設備のこと   |
| 不燃化特区制度       | 整備地域の中でも地域危険度が高いなど、特に重点的、集中的に改善を図るべき地区について、区からの提案を受け、都が期間や地域を限定して、老朽木造建築物の建替え・除却への助成や固定資産税等の減免措置など特別の支援を行う制度 |
| 不燃領域率         | 市街地の「燃えにくさ」を表す指標。建築物の不燃化や道路、公園などの空地の状況から算出し、不燃領域率が70%を超えると市街地の焼失率はほぼ0となる                                     |
| プラスチック水平リサイクル | 回収したPETボトルなどのプラスチックを、ケミカルリサイクル（化学的再生法）またはメカニカルリサイクル（物理的再生法）により原料にもどし、再び同種のプラスチックをつくる方法                       |
| フレイル          | 加齢とともに、心身の活力（例えば筋力や認知機能等）が低下し、生活機能障害、要介護状態、そして死亡などの危険性が高くなった状態。適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能                      |
| プレコンセプションケア   | 将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと   |
| ペロブスカイト太陽電池   | ペロブスカイトと呼ばれる結晶構造を持つ化合物を用いる太陽電池。塗布や印刷技術で量産でき、ゆがみに強く軽い。これまでシリコン太陽電池では設置できない場所に設置できることが期待される                    |
| 防災拠点          | 平常時には防災に関する研修や訓練の場や地域住民の憩いの場などとなり、災害時には防災活動のベースキャンプや住民の避難地となるもの  |
| 訪問看護・リハ       | 訪問看護・訪問リハビリテーション。医師の指示のもと、介護又は介護予防支援が必要な高齢者が在宅で受けられる看護師等による療養上の世話等や、理学療法士等による心身の機能の維持回復等の介護サービス              |

| 語 句                | 意 味  |
|--------------------|--|
| 歩行者利便増進道路制度        | 「地域を豊かにする歩行者中心の道路空間の構築」を目指し、歩行者の安全かつ円滑な通行及び利便の増進を図り、快適な生活環境の確保と地域の活力の創造に資する道路を指定する制度                               |
| ほこみち               | 歩行者利便増進道路の通称   |
| 保全地域               | 自然保護条例に基づき、山地や丘陵地などの良好な自然地を区域指定し、その保護と回復を図る地域。良好な自然の生態系を保護するため、建物その他工作物の建築等が制限され、計画的な保全管理が行われる                     |
| 舗装式太陽光発電           | 太陽光パネルと光るガラス導光板を複層状に合わせたもの。<br>昼間に太陽光パネルで発電した電気を付属のバッテリーに充電し、夜はその電気で、ガラス導光板を光らせることが可能                              |
| <b>ま行</b>          |  |
| マスタープラン            | バリアフリー法に基づき、旅客施設を中心とした地区や、高齢者、障害者等が利用する施設が集まった地区（「移動等円滑化促進地区」）において、面的・一体的なバリアフリー化の方針を区市町村が示すもの                     |
| まちづくり団体            | 都市開発プロジェクト等により生み出された公開空地等を活用して、地域の特性を生かした魅力を高めるまちづくり活動を行う団体  |
| 民生・児童委員            | 民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行う無報酬のボランティア。福祉事務所や児童相談所など関係行政機関への協力等、様々な活動を実施                       |
| メタバース              | インターネット上の仮想空間。ユーザーが好みの姿をした「アバター」を自由に操作し、他者とのコミュニケーションや、様々なサービスやコンテンツの提供が行われる                                       |
| 木材利用ポイント           | 多摩産材を一定量以上使用し、東京ゼロエミ住宅の認定を受けた住宅を新築した者を対象に、使用した多摩産材及び国産木材の量に応じて交付される東京の特産物等の贈呈品と交換できるポイント                           |
| 木質バイオマス発電          | 木質バイオマスを燃やしてタービンを回して発電する仕組み。<br>木質バイオマスには樹木の伐採や造材のときに発生した枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの種類がある |
| 木密地域<br>(木造住宅密集地域) | 震災時に延焼被害のおそれのある老朽木造住宅が密集している地域   |

| 語 句             | 意 味  |
|-----------------|--|
| <b>や行</b>       |  |
| やさしい日本語         | 外国人をはじめ、子どもや高齢者、障がいを持つ方など、より多くの人にわかりやすいように配慮した日本語のこと   |
| ヤングケアラー         | 法令上の定義はないが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子供   |
| 有業率             | 15歳以上人口に占める有業者（普段、収入を得ることを目的として仕事をしている者）の割合  |
| ユースヘルスケア        | 思春期特有の健康上の悩みを解消し、若い世代の健康を増進する取組  |
| 優先整備区間          | 「東京都自転車通行空間整備推進計画」（令和3年5月）に基づき、2030年度までに既設道路において優先して自転車通行空間を整備する区間   |
| ユニバーサルコミュニケーション | 障害者、外国人など誰もが自由に心を通わせることができるコミュニケーション   |
| <b>ら行</b>       |  |
| ラムサール条約         | 国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全を促進するため、1971年にイランのラムサールで採択された条約。正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という                    |
| 卵子凍結            | 卵巣から採取した卵子を将来の妊娠に備えて凍結保存すること。悪性腫瘍などの治療によって、卵巣機能の低下が予想される場合に実施する「医学的適応」と、加齢等により卵巣機能の低下をきたすことが予想される場合に実施する「社会的適応」がある |
| リブランディング        | 既存のブランドを刷新するブランディング活動  |
| リユース            | 使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること   |

| 語 句         | 意 味  |
|-------------|--|
| 林業架線作業主任者免許 | 山林で伐採された原木を搬出する機械集材装置や運材索道などの組立て、解体等の作業や、これらを用いて集材や運材の作業を行う際に必要な国家資格   |
| 臨港道路        | 港湾法第2条第5項第4号に掲げる臨港交通施設に位置づけられる港湾施設（道路法上の道路ではない）で、東京都港湾管理条例に基づき告示されたものを示す。港湾の管理上必要な施設として整備し管理する道路                                       |
| 連続立体交差      | 連続立体交差事業とは、都市部における道路整備の一環として、道路と鉄道との交差点において、鉄道を高架化または地下化することによって、多数の踏切を一挙に除却し、踏切渋滞、事故を解消するなど都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する事業のこと |
| ローコード       | 少ないプログラムコードでアプリの作成ができる手法   |
| <b>わ行</b>   |  |
| ワーケーション     | Work（仕事）とVacation（休暇）を組み合わせた造語<br>テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ 仕事を行うこと   |
| 若ナビα        | 東京都若者総合相談センターの愛称で、若者やそのご家族等を対象とした無料相談窓口。若者のさまざまな悩みに対応する総合窓口として、東京都内にある専門の窓口や支援機関等へつないだり、情報提供を行っている                                     |